

グリーンウェーブ

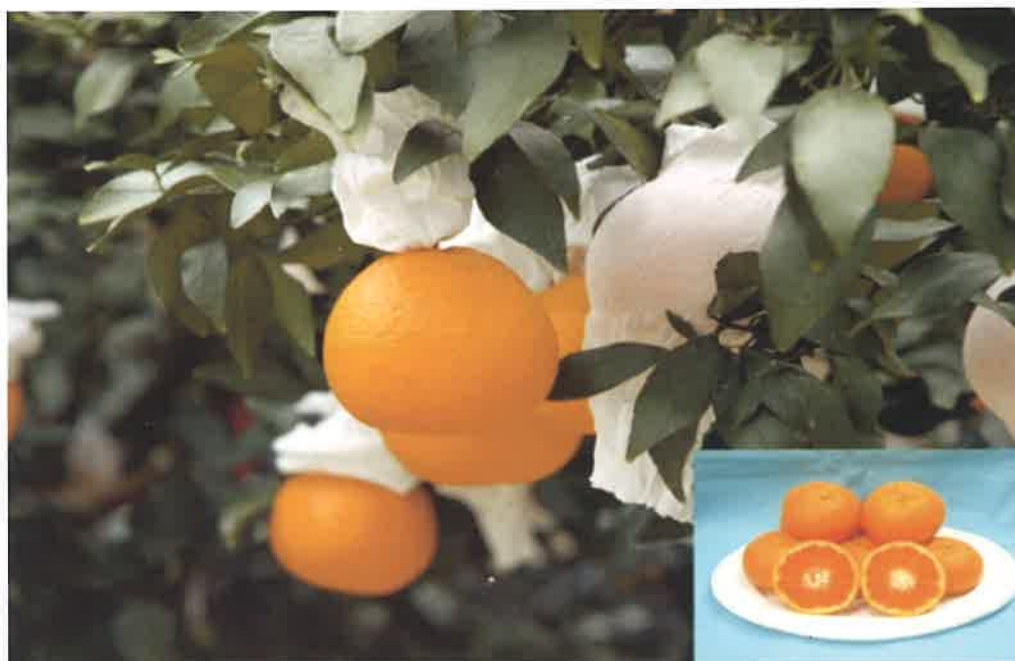
やまぐち農試だより

18 号

平成18年3月
編集・発行
山口県農業試験場

やまぐちオリジナルかんきつ

「せとみ」の収穫始まる！



平成18年2月14日、大島柑きつ試験場では、やまぐちオリジナルかんきつ「せとみ」の収穫試験を開始しました。

「せとみ」は大島柑きつ試験場で「清見」と「吉浦ポンカン」を交配して選抜育成した山口県のオリジナルかんきつ品種です。現在、同場では高品質安定生産に向けた試験をしています。

「せとみ」は周防大島町を中心に県下で20haの栽培があり、今年度3月から「ゆめほっぺ」という商品名で本格的な出荷が始まります。大島柑きつ試験場では、「せとみ」はもとより、有望品種の育成や生産方法について技術を組み立てて、生産者の方々に提供していきます。

<主な内容>

◇試験場育成品種の紹介

「ヤマノイモ『徳地ぶちねば』」，「黒大豆『山口1号』」～育種開発部～

◇こんな研究をしています！～栽培技術部 作物栽培グループ～

『小麦ニシノカオリについて』

◇カレー野菜への取組み！～企画普及部～

◇萩柑きつ試験場試験成績検討会開催～萩柑きつ試験場～

◇ソバ安定生産への取組み！～徳佐寒冷地分場～

やまぐちオリジナル品種を育成しています！

～ 育種開発部 ～

試験場育成品種の紹介

ヤマノイモ「徳地ぶちねば」

(平成16年12月品種登録出願
平成18年2月出願公表)



「徳地ぶちねば」は、山口市徳地地区在来種の中から優れたものを選抜し、これに植物ウイルスワクチンを接種し、ヤマノイモの主要な病害であるモザイク病にかかりにくくしたものです。このヤマノイモは、薯の肥大が優れ、形状は扇型で揃いがよく、すり下ろしたときの粘りも優れます。

今後、徳地地区では「徳地ぶちねば」に品種更新し、収量・品質の向上を目指します。



黒大豆「山口1号」

(平成18年1月品種登録出願)

「山口1号」は、長門市仙崎の「タマホマレ」栽培ほ場で発生した、黒い子実などの異形株を元に、選抜を繰り返し、育成した草姿や品質に優れる本県オリジナルの早生黒大豆品種です。

この品種は、「丹波黒」に比べ収穫期が2ヶ月程度早く、かつ短茎で倒れにくく、収量性にも優れ安定して200kg/10a程度収穫できます。



下関市豊田町で、地域特産化に向けた取り組みが行なわれています。加工品の開発も進み、焙煎茶と納豆が製品化され、販売されています。



●黒豆っ茶！●

黒大豆「山口1号」だけを使用した焙煎茶です。風味が良く、まろやかな味が魅力の一品です。ぜひご賞味下さい。



「ニシノカオリ」の開花期追肥について

小麦はその品種の特性により、うどん、菓子、パン、中華麺などに使い分けられています。本県では主にうどんや菓子などに向く品種が栽培されていましたが、最近はパンや中華めんに利用できる品種として「ニシノカオリ」が注目され、作付が拡大されるとともに、これを利用したパンは学校給食にも導入されています。

パン用の品種は、タンパク質含有率を高めることで製パン性が高まる（良いパンができる）ことから、「ニシノカオリ」の子実タンパク質含有率を高める施肥法について研究しました。



写真1
ニシノカオリの栽培風景（成熟期）

成果は以下のとおりです。

- ・開花期*（出穂後7～10日）に硫酸などの窒素肥料を追肥することによって、子実タンパク質含有率は確実に高まります。農業試験場のほ場（砂壌土）では、窒素1kg/10aにつき、子実タンパク質含有率は0.7～0.9%程度増加します。
- ・子実1粒の重さが増加するので収量も増えます。
- ・開花期追肥の窒素施用量は2kg/10aを目安とします。これより多く施すと見た目の品質が悪くなったり、熟れるのが遅れたりする場合があります。

開花期追肥はこれまでの麦作りからすると余分な作業なので、これを省略できる緩効性肥料の利用についても検討しています。

*：小麦は穂が出て1週間目頃が開花の最盛期です。



写真2
ニシノカオリのパン

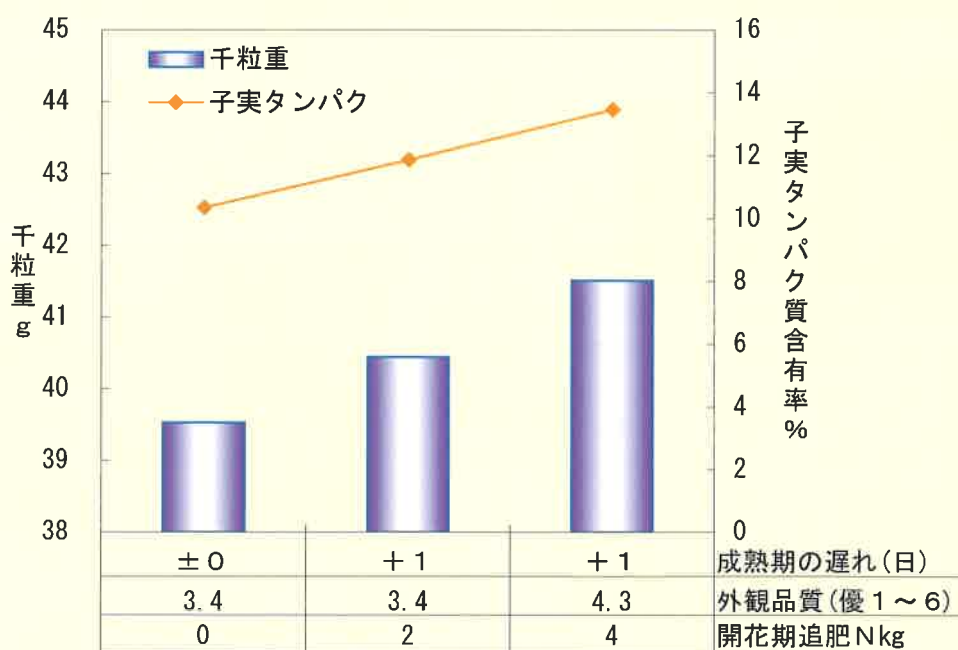


図1 開花期追肥の施用と子実タンパク、千粒重

[研究成果の詳しい内容を御希望の方は農業試験場まで御連絡ください。]

カレー野菜を作ませんか？

機械化で省力・軽労化を実現！

ニンジンやバレイショは、カレーなどの食材として年間を通じて需要のある野菜です。しかしながら、これらの根菜類は植付や収穫・運搬作業が重労働であることなどの理由で県内にほとんど産地がありません。

そこで農業試験場では、重労働な作業を機械化で省力・軽労化する栽培の現地実証を行いました。

ニンジン、バレイショいずれも作業時間は慣行栽培の1/4～1/5程度となり大幅な省力化が実現できました。

今後はこの成果を、関係機関・団体と連携して、県内各地へ普及し、産地づくりを進めていきます。

10aあたりの作業時間
(省力化栽培の場合)

ニンジン：6.2時間
バレイショ：8時間



播種



収穫

ニンジン栽培の様子（山口市秋穂二島）



植付



生育途中の様子



収穫

バレイショ栽培の様子（山口市阿知須）

萩柑きつ試験場成績検討会



12月9日、萩柑きつ試験場は長北地域の生産者及び関係機関・団体を対象に、成績検討会を開催しました。かんきつ園の草生栽培、長門ユズキチの栽培方法、かんきつやかきの病害対策に関する試験研究成果を紹介しました。

ソバ安定生産への取り組み

徳佐寒冷地分場では、地産・地消を推進するため、平成18年度からソバの品種選定や機械化体系に適応した栽培技術について研究します。



＜山口県農業試験場 企画普及部＞

〒753-0214 山口市大内御堀1419 TEL(083)927-0211 FAX(083)927-0214

URL <http://www.nourin.pref.yamaguchi.lg.jp/hp/kenkyu/nougyou/index.htm>

※皆さまからの御意見、御要望をお待ちしております。